

## 職場や地域の支援者との話し合いと取り組みに関する認識の共有

職場での安全と健康管理ができることを確認した上で職業人として活躍するためには、あなたと職場や支援者で、働き方に関して同じ認識を持つことが必要です。

話し合いに備えて、あなたの考えをまとめておきましょう。

- ① 就職後も適切な健康管理を行うために、あなた、職場、支援者との話し合いで共有された認識を整理しましょう

### 職場で取り組むこと（安全・健康配慮）



例) ・定期的な通院ができるように、業務時間の調整を行う

### 自分が取り組むこと（安全・健康配慮）



例) ・主治医に相談して、通院回数を減らしたり、通院の予定を早めに上司に伝えたりする

### 支援者・支援機関（医療機関、障害者就業・生活支援センター等）の役割



例) ・本人と職場、それぞれに定期的に連絡をとり、「定期通院ができているか」「健康管理をする上で困りごとはないか」「職場の人間関係を負担に感じていないか」「職場にかかる負担はどうか」等の相談にのる

## 職場や地域の支援者との話し合いと取り組みに関する認識の共有

- ② 就職後も健康管理をしながら職業人として活躍するための、あなた、職場、支援者との話し合いにより、共有された認識を整理しましょう

### 職場で取り組むこと（合理的配慮・業務調整等）



例)・納期に余裕がある仕事を担当させてもらうなどの業務調整を行う

### 自分が取り組むこと（業務調整等）



例)・体調に気をつけて、無理をしないペースで計画的に仕事に取り組む

### 支援者・支援機関（ジョブコーチ、地域障害者職業センター、ハローワーク等）の役割と制度の活用



例)・本人が頑張りすぎて健康管理ができずに悩んでいる等の問題が生じていないか、定期的な職場訪問で確認する